

# 「JIS2004」対応フォントと モリサワ学参常改フォントについて

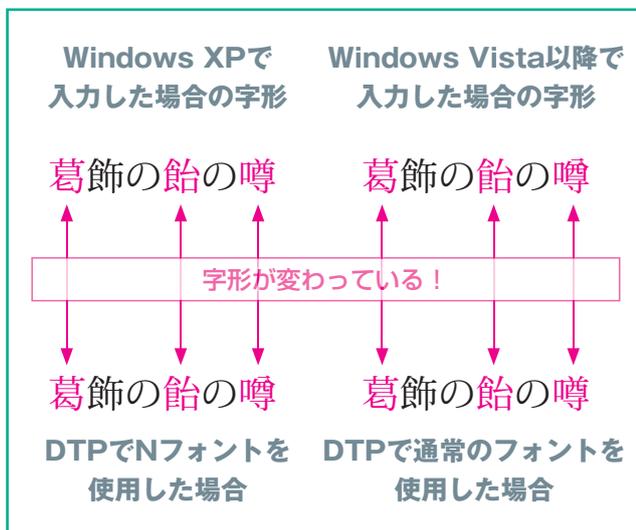
各フォントメーカーから発売されている「Nフォント」とは？  
そして、モリサワからは学参常改フォントというものも登場しています。  
これらのフォントの用途や注意事項について解説します。

## ■「JIS2004」字形対応フォント

モリサワやフォントワークスをはじめ、主要なフォントメーカーから「JIS90」字形に対応したフォントと「JIS2004」字形に対応した2種類のフォントが発売されています。現行のOpenTypeフォントは基本的に「JIS90」字形を採用しています。「JIS2004」字形とは、従来の「JIS90」から168文字の例示字形\*が変更されたものです。この168文字の中には、字体は同一で字形は異なるもの（茨と茨など）、字形そのものが異なるもの（辻と辻など）も含まれています。これらは従来のフォント名の末尾に「N」が付いており「Nフォント」と呼ばれています。

例) A-OTFリュウミンPro6N

今後は、より新しい規格のNフォントが主流になると言われています。しかし、問題も残されています。原稿を作成する著者や編集者の多くはWindows環境で作業をしています。同じWindows環境でもXPに搭載されているフォントは「JIS90」で、Vista以降は「JIS2004」となっているため、開く環境によっては字形が変わってしまう恐れがあります。当然、DTPの現場でも同じようなことが発生します。



左下の図のようにWindows Vista以降で入力した原稿を、DTP側でレイアウトソフトに取り込んだ際に、「JIS90」字形のフォントを使用すると、字形が変わってしまいます。逆も同じことが言えます。

この字形の違いは、国語や漢字検定などの教材では特に重要なことです。そのため、入稿時にテキスト原稿の入力環境をDTP側に伝達することが、字形のトラブルを回避するためのポイントになります。通常、弊社はWindows XPでテキスト入力し、「JIS90」字形フォントでDTP制作を行っております。

※：JISの規格票に示されている字形のこと

## ・JIS2004で変更された例示字形の一部

面区点	JIS	文字	旧規格	新規格	旧MS明朝体	面区点	JIS	文字	旧規格	新規格	旧MS明朝体
1-16-9	3029	逢	逢	逢	逢	1-16-18	3032	芦	芦	芦	芦
1-16-27	303B	飴	飴	飴	飴	1-16-78	306E	溢	溢	溢	溢
1-16-81	3071	茨	茨	茨	茨	1-16-83	3073	鯛	鯛	鯛	鯛
1-16-92	307C	淫	淫	淫	淫	1-17-10	312A	迂	迂	迂	迂
1-17-25	3139	厩	厩	厩	厩	1-17-29	313D	噂	噂	噂	噂
1-17-34	3142	餌	餌	餌	餌	1-18-8	3228	襖	襖	襖	襖

## ■常改フォントについて

日常的によく使われる漢字をまとめた常用漢字表が2010年に改定されました。それを受け、文字の追加や字形の変更を行ったのが、モリサワの「学参常改」フォントです。下図のように、改定常用漢字表にならった字体に変更されています。